

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	New Step 大阪3rd 江坂教室			
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～	令和7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～	令和7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	日々の運動療育を中心とした活動では、反復プログラムと新しいプログラムを織り交ぜ、周囲と達成感を共有し、自信に繋げていけるようプログラムを工夫している。また、祝日・長期休暇時は様々な体験学習や課外活動を積極的に取り入れている。	児童が楽しみながら活動に取り組めるように活動プログラムの充実化を図る。また、児童が様々な経験を積めるよう、目的を設定した体験学習や課外活動を企画、実施していく。
2	職員間での情報共有	様々な資格、経験をもつ職員を配置し、様々な意見や課題を共有している。	多角的な視点から児童の課題の把握、支援内容の共有を行い、各職員の資格や長所を活かした幅広い支援が提供できるよう連携強化を図る。
3	職員の研修の機会の確保	事業所内、法人内での定期的な研修を実施し、外部研修にも積極的に参加している。	職員のスキルアップを含め、研修機会の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルの保護者への周知	各マニュアルを策定し、契約時に説明を行っている部分はあるが、周知には至っていない。	事業所で取り組んでいるマニュアルに基づいた研修や訓練の実施報告を、会報等を通じて発信し、保護者への周知を図る。
2	保護者同士で交流する機会の提供	保護者の就労状況や家庭状況等を踏まえ、保護者のニーズを伺いながら、個別での見学・面談は実施しているが、事業所で保護者同士で交流する機会は提供できていない。	保護者の様々なニーズを伺い、保護者会や事業所見学会の開催等について、検討を行う。
3	地域交流の機会	課外活動や地域の公園での交流はあるが、十分とは言えない。	時間や交流内容、方法等を含め、諸機関との交流について、検討を行う。